

令和4年第3回(9月)市議会定例会本会議報告について

教育総務課

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【北川原晃議員】</p> <p>●子供たちへの環境教育について</p>	<p>【教育長】</p> <p>市内中学校の取り組みの一例をあげると、中学3年生の理科の小単元「エネルギー資源の利用」の中で、カーボンニュートラルについて学んでいる。</p> <p>この学習をとおり、生徒が環境問題を自分事として捉え、「これからも住める地球を」と題したカーボンニュートラルに関するオリジナルの説明スライドを作成している学校がある。</p> <p>また、学校での環境学習をきっかけに、生徒会が長野県地球環境防止活動推進センターで主催する「2050信州ゼロカーボンチャレンジ」へ応募し、ゼロカーボンに向けて今からどんなことができるか、自ら考える取り組みをしている学校もある。</p> <p>このように、中学校では教科学習をきっかけに、生徒自身が環境問題に興味を示し、自ら学びを進める取り組みがはじまっており、このことは、わたし（教育長）としても、大変嬉しく思っているところである。</p> <p>加えて、千曲市の取り組みとして、千曲市地球温暖化対策協議会と環境課の共催で、小学生向け環境冊子「みんなでチャレンジ！エコノート」を作成し、各小学校の1年生に配布をしていただいた。</p> <p>このエコノートを活用した例として、児童が学校や家庭で先頭に立って「不要な電気は消す」「冷蔵庫を開けたときはすばやく閉める」など、自分自身ができることに取り組んだ。</p> <p>これはほんの一例だが、議員ご指摘のとおり、将来を担う小中学生に、環境問題は自身の課題であると認識してもらうことは大切なことであるので、引き続き環境に関する教育・学習に取り組んでいく。</p>

【再質問】

千曲環境エネルギーセンターへの社会見学は行っているか。

【倉島さやか議員】

●学校教育の取り組み

①教育データ利活用ロードマップ活用の現状とこれからについて

【教育長】

校長会などを通じて、周知していきたい。

【教育長】

このロードマップは、将来に向け、国が目指す教育に関するデータの効果的な活用方法の全体像を示したものと理解している。

現在、市教育委員会では、ロードマップの中で短期的に実施すべきとされている学校への端末配備を完了し、各学校間のネットワーク整備を行い、校務のデジタル化を進めるとともに、児童生徒や教員が日常的に端末活用をした学びの推進に努めているところである。

今後、国は各地方自治体がそれぞれの部署で管理している子どもに関するデータや、多様な関係機関が保有する情報を横断的に利用できるようにし、「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」の実現を目指しているものと認識をしている。

しかし、現在のところ、その全容を把握するには至っていない。

よって今後、市教育委員会としては、国の動向に注視しながら、中長期的に進めるべき施策が示されたところで、必要な取り組みを実施していく。先立って、研究もしてまいりたい。

【再質問】

どのように国の動向を見ているのか。

【教育長】

文科省HPの確認や県からの通知など、情報の取得についてはいろいろな手段があり、積極的に取得している。ロードマップについても報道されていたので認識はある。今後、教育施策としてどのように展開させていくかは考えていきたい。

②広域通信制の高等学校の取り組みへの所見

不登校の生徒に限らず、生徒が自らのペースで、自分らしく学ぶことができる新たな学びのスタイルを提供し、生徒や保護者の多様なニーズにこたえうるもの

として、千曲市の中学校を卒業した生徒も複数進学していることから、進学先の一つとして期待も高まってきているものと感じている。

よって今後も、中学校を通して進路選択の際の一つの選択肢として紹介していくとともに、進学後の生徒の教育活動の様子、地域との連携状況など情報を収集しながら、市教育委員会における不登校児童生徒への学びの場の充実の参考とさせていただきたいと考えている。

【再質問】

今後、廃校後の誘致としても考えていただきたい。

【教育長】

現在、廃校となる予定の学校はない。まちづくりも含め、全庁で取り組むものと考えている。

【飯島孝議員】

●小中学生の体力の低下について

【教育長】

令和3年度の全国体力・運動能力調査の結果からみると、体力は全国平均と比較すると、やや低い結果。また、令和元年度コロナ前の全国体力・運動能力調査の結果と比較すると、全国も同様の傾向で、やや低下傾向を示している。

①当市の体力の現状と結果

これは、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えている。基本的感染防止対策の徹底、特に三密の回避から、社会全体での活動制限、学校での体育・保健体育の授業・業間体育での運動制限、課外クラブや部活動の制限等、感染拡大防止に伴い、体力向上に関する様々な取組が制限されたことが大きかったと考える。

②今後の体力向上の取組

現在、小中学校では、「感染防止対策の徹底」と「学びの継続」を車の両輪とし、教育活動に取り組んでいる。「体力向上」についても、「感染防止対策の徹底」を図りつつ、昨年度の全国体力・運動能力調査の結果をもとに、自校の結果を分析し、各学校で「体力向上プラン2022」を作成し、課題を明確にし、自校の体力向上に取り組んでいる。

③人材をどのように育てているか、いかれるのか。

毎年、県教育委員会では、小中学校の学校体育をリードする体育主任等を中心に「体育・スポーツ研究協議会」を開催し、各校の「体力向上プラン」をもとに情報交換を行い、自校の取り組みに活かすようにしている。

また、年1回郡市ごとに、各学校の代表が参加する「学校体育実技伝達講習会」を開催し、体育・保健体育の指導力向上研修を行い、各校で伝達講習を行っている。

議員ご指摘のように「健康・体力」は、「生きる力」の三本柱のひとつ。コロナの感染状況を踏まえつつ、まずは児童生徒が自ら身体を動かしたり、運動の楽しさを感じたりできるように、学校での取組を停滞させることがないようこれからも各学校へ働きかけていく。

【再質問】

地域ではどのような取り組みをしているか。

【教育部長】

スポーツ振興課において、市スポーツ協会への委託事業として小中学生を対象に、スポ少13団体、野球、ソフトボール、ハンドボールなどを実施している。引き続き、体力向上に努めていきたい。

【川嶋敬信議員】

●屋代南高校のこれまでの経緯

①千曲市として県及び県教育委員会へどのような要望を出してきたのか。

【教育部長】

これまで、千曲市として県等への要望書の提出はしていない。

本年6月議会の川嶋議員の質問の中で、市長からも答弁したが、今回の県教委が進める高校再編について、県内の自治体が単独で要望書を提出しているところはないと認識している。

②今後の要望活動の方針

市長が会長を務める「屋代南高校を発展させる会」が昨年9月15日に長野県教育委員会教育長に提出した「提案・要望書」には、県教委に対する「要望事項」が3点掲げられている。

この中でも、次の2点、

一つとして、「将来的な学校数減少に伴い、生徒の通学

の便を最大限に配慮し、JR・しなの鉄道線の駅に近い高校を活用するとともに、市・町の人口および中学生数に応じた高校配置は是非必要。千曲市の人口規模からすると2校配置されることを強く要望する。」

二つとして、「屋代南高校は、授業等において地元企業との連携が密接であるとともに、地域の行事やイベント等に生徒が積極的に参加し、地域住民から絶大な信頼を得ている。さらに、生徒の多くは卒業後、地元企業や事業所に就職するなど、地域を支える人材となっており、地域になくてはならない高校である。もし、高校再編の名のもとに無くなることになれば、千曲市の活力が衰退することが懸念される。時代のニーズに応える魅力ある教育システムを構築すれば、北信から東信にかけて、広く集まりやすい地理的メリットを生かし、将来にわたり魅力ある学校として生き続けるので、屋代南高校の存続を強く要望する。」。

発展させる会の主張である、この2点が、今後の要望活動の柱と考えている。

そして、この2点は、当然、発展させる会の会長である小川市長の意向と合致するものである。

議員が先程発言された7月31日と8月5日に「信州の幸あんずホール」において合計3回行われた、県教育委員会主催の「再編・整備計画」の際にも、多くの参加者から発言があった要望内容であると認識している。

③近年の各高校への進学者数の概要は

本年3月の市内4つの中学校の卒業生510人の進学先は、千曲市内では屋代高校へ41人、屋代南高校へ29人が進学している。

県立高校を、旧通学区エリアで見ると、旧第4通学区エリアの高校(長野市南部・千曲市・坂城地域)へ249人、旧第3通学区(長野市北部地域)へ45人、旧第5通学区(上田地域)へ82人が進学している。

また、県内の私立高校へは87人が進学している。

【再質問】

高校再編の動きなどを市民にどのように知らせていくのか。

【教育長】

あくまでも県教委が決定すること。決定がなされて

ないところでは、そのような段階ではないという認識。

令和2年度の教育委員会事務の点検及び評価報告書に『「発展させる会」から県に提出予定の提言書が多方面からの理解を得られるかが課題』とあるが課題は解決されたか。

また、1/24 教委定例会で「課題が解決されていないければ、住民説明会が紛糾する」との発言があったが。

●第三次総合計画では

②中学卒業時点で、いわゆる職業科を選択することについて

【聖澤多貴雄議員】

●屋代南高校存続について

提言書は、私個人としては理解いただいているという認識。あそこ校地に残すという思いの提言なので、その方向は一致している。

地域協議会では、校名を出しての協議はNGだった。旧第4通学区については、今後どのような学校が必要かという議論であったので、総合技術高校ということになったという経過。住民説明会の前に初めて松代高校に普通科という話しが出てきた。

まだ決定ではないので、市民の皆様とともに県に働きかけてまいりたい。

【教育部長】

教育委員会としては、2030年を目途とする高校再編の動きを注視しながら、今後の人口減少社会の中で、子供たちの夢を実現する学びや教育環境の実現に向けて、市長部局と連携を図っていく。

【市長】

県教育委員会主催による県立高校の「再編・整備計画」の住民説明会が7月31日と8月5日に「信州の幸あんずホール」において、計3回行われた。

私は、全ての説明会に出席したが、屋代南高校の存続や校地の活用の要望ほか、三次案の矛盾点などについて質問をした。

説明会には、聖澤議員も常に出席されていたので、その状況はご理解いただけるものと思う。

また、聖澤議員も総合技術高校の規模感や長野市内の高校に設置予定の多部制・単位制の問題点など、的確なご質問をされた。この場をお借りし、感謝申し上げます。

「市民の皆様には強いメッセージを」とのことだが、これまで、申し上げてきたが、多様な学びの場としての屋代南高校のキャンパスの存続は、私の願いであり、千曲市民の強い願いである。

今後も引き続き、同じ場所に、子供たちの将来を見据

えた新しい学びの場が残るよう、県並びに県教委に働きかけてまいりたいと考えている。

そして、今、新たな市民運動の動きもあり、まさに、市民がこの高校再編を我がごととして考えていただいている。

こうした、新たな運動体の皆様との連携も模索しながら、今は、私が会長を務める「屋代南高校を発展させる会」を構成する同窓会の皆様をはじめ、市議会、地元選出の県議会議員、経済界や市民の皆様と一丸となって、屋代南高校の存続・発展のために力を注ぐとともに、併せて、千曲市のまちづくりを担う首長として、長野県知事部局、県教委、県議会等関係方面との調整に最大限の力を発揮してまいりたいと考えている。

【滝沢清人議員】

●インクルーシブ防災で命と暮らしを守る

③学校施設で最も広い福祉避難場所でもある戸倉上山田中学校へのエレベーター設置について

【教育部長】

昨年6月議会定例会の一般質問でも、市内小中学校にエレベーター設置の質問があった。

その中で、戸倉上山田中学校には、1台分のエレベーターシャフト、いわゆるエレベーターが走行する縦穴上の空間になるが、こちらを設けており、将来的に、車椅子利用者に対して校舎内の上下移動が対応可能となるという設計であると申し上げた。

また、今後のエレベーター等の設置の方向性については、現時点では設置する予定はないが、インクルーシブ教育の推進や、バリアフリー法の一部も改正されたことから、将来的には、各学校や児童生徒の状況により対応していかなければならないとお答えしたところである。

その後、戸倉上山田中学校のエレベーターについて、さらに検討をしたところ、規格面では、既存のエレベーターシャフト（空洞）に設置できるエレベーターの大きさは、縦横約1.4mであり、車いす対応は可能であるが、タンカやストレッチャーが乗れる大きさではないこと。

また、元電源は1階にあるため、水害を想定すると電源の移設が必要なこと。さらには、エレベーターの年

間維持管理費がかかること。そして、生徒たちの学習環境を維持しながらの工事となることなど、様々な課題も見えてきた。

一方で、議員ご指摘のとおり、インクルーシブ防災の視点に立つと、福祉避難所へのエレベーター設置は極めて重要であると考えており、実際の現場での運営面のほか、財政措置など、今後、担当部局を交えながら設置に向けて前向きに検討を進めていく。

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>一般質問</p> <p>【柳澤眞由美議員】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、不特定多数が手にする図書館の本は殺菌気を通すことにより次の借り手が安心して借りる事が出来る。臨時交付金の対象にもなるので戸倉図書館、田毎図書館へも設置してはどうか。今度の導入予定はあるか。</p>	<p>【教育部長】</p> <p>現在、3図書館では返却された本を消毒液により除菌している。</p> <p>取扱量の多い更埴図書館には更なる感染予防対策として紫外線除菌気を配置する予定で、今議会で補正予算をお願いした。</p> <p>紫外線は紙を劣化させるとの指摘もあり絶版となった本など図書館の貴重な資料を損なう可能性が否めない。更埴図書館で運用する中で問題があるかを確認し、多館への導入について検討をしたい。</p>

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【宮下繁明議員】</p> <p>●更埴文化会館(あんずホール)の sprinkler 改修工事について</p> <p>① sprinkler 不具合の報告が遅れた原因はどこにあるか。</p> <p>【再質問】</p> <p>・重大な事態について、書面に書いてあったが読めなかったのか、それとも書面に書いてなかったのか、どちらか。</p>	<p>【教育部長】</p> <p>昨年の文化会館施設の災害復旧工事期間中において、文化課の担当職員からは、発注者である市、そして、工事監理者や工事受注者などが集まり、工事の進捗などの協議がされる「毎月の定例会議」の概要が、書面で私の手元にあがってきていたが、その書面上からは、sprinkler 設備に重大事態が起きているという状況を読み取ることができなかった。</p> <p>今回の sprinkler 設備の不具合の内容が確認された段階で、担当者から課長へ、そして課長から部長へと情報をつなぐ組織風土が作れていなかったという事実は極めて重く、このことは日常の管理監督が行き届いていなかった、ということです。</p> <p>市長からは、部長会議等で、部下職員に対しては、公務員としての高い倫理感と使命感について、様々な機会を通じて、注意喚起を促すよう指示を受けていた。</p> <p>私から部下への声掛けや担当への事業の進捗状況の確認不足から招いた事案と受け止めており、もって、議員各位並びに市民の皆様にご心配をおかけすることになってしまった。</p> <p>したがって、「報告が遅れた原因」は、私の日常の管理監督が行き届いていなかったということ。</p> <p>誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。</p> <p>11月3日に、「1階、2階の sprinkler アラーム弁について今後改善等を検討されたい」と定例会議での議論があったという会議報告書があがってきたが、それが重大事態</p>

・この件の重大性は、担当者レベルで分からないことなのか。重大な事態ということで口頭での報告は無かったのか。

・担当者は重大性を認識して複数業者に問い合わせをしたが、上司に口頭で問題が起きているということの報告は無かったということか。

・担当者レベルでの判断ということだが、1年以上休館となるとか、費用も何億かかるか分からないというような重大な案件を担当者レベルで済ますということは考えられないが、どうしてこういうことが起きてしまったのか、報連相ができていなかったのは組織に問題があるのか。それとも担当者の個人的な問題なのか。

・こうした重大な問題が起こったときに担当者から課長、そして部長に直接話があってよかったと思うがいかがか。

・書類はあがっていたが、それは読み取れなかった。組織の中で、これは重大な問題なので、書類をあげるだけではなく、上司にきちんと説明する、報告するということが必要だと思うが、風通しが良くないのではないか。きちんと報告するような環境にな

なのかどうか、書面上では、私には判断できなかった。

会議の報告書が机の上に有り、私が見て、その時点で見当がつかなかったということで、その後、担当者レベルでは複数の業者に点検等、どのようにしたら良いか投げかけていると聞いている。

担当者レベルでは、この問題の解決に当たり、複数の業者に対処できないかという依頼を1月末頃まで問い合わせていたが、4月開館に向けては改善が不可能という判断をして、既設のスプリンクラー改修の先送りをしてしまったと聞いている。

組織という視点では、これは教育委員会部局の案件。常々市長からは報連相、凡事徹底、公務員としての高い倫理観・使命感をもてと指示を受けてたので、それを私が部下に徹底できていなかった、チェック体制が甘かったということで、私の責任です。

こういう事態が発生したときには、担当者が課長へ、課長から部長へ、部長から理事者へと、そういう報連相が通常と考えているが、そこが今回できなかったということは教育委員会内での問題と考える。

【教育長】

私としては教育委員会内の風通しが決して悪いとは思っていない。それぞれのセクションでそれぞれの職員が、自分の担当分野を尽力してもらっているが、今回このような事態が生じたということを真摯に反省して、今後は、一人の職員が事業を進めて

いのではないか。教育長、どう思うか。

②「民間では考えられない今回の不祥事についての責任は、誰がどのようにとるのか」について

【北川原晃議員】

●更埴文化会館復旧工事における不祥事について、2つの問題点と経緯について所見を。

①復旧工事の調査設計を委託した業者に、スプリンクラーポンプ等の消火設備機械を新しく整備したにもかかわらず、1、2階も含めたスプリンクラー設備が正常に機能するのか調査を依頼しなかったこと。

いくうえで、何か迷ったときや判断を下すようなときなど、一人で抱えないように、同僚や上司に直ぐ相談をする、そういう体制、具体的にどのような体制をとっていくか、教育委員会の中で検討し、二度とこのようなことが起こらないように対応したい。

【教育長】

今回の更埴文化会館のスプリンクラー設備の不具合における対応については、文化会館を所管している教育委員会の長として、大変重大に受け止めていると共に、責任を痛感している。

具体的な処分等は今後早急に決定する。

【教育部長】

当時の状況を申し上げると、災害復旧に当たり、現場調査及び設計業務の方針として、浸水被害を受けた範囲を原形に復旧するという観点に従って調査していた。そのため、浸水被害を免れていた1、2階のスプリンクラー設備及び配管については、被災する以前の消防設備等点検において異常が無かったこともあり、調査は行わなかった。

1、2階のスプリンクラー設備は、浸水被害は免れてはいるものの、地階に新しく設置されるポンプやエアークンプレッサーは、1、2階を含めたスプリンクラー設備全体に関わるもの。したがって、現場調査及び設計業務の際に、1、2階を含めたスプリンクラー設備の状況を調査しておけば、復旧工事の終盤に、スプリンクラー設備の不具合が判明する事態は避けられたものではないかと認識している。

②昨年 11 月に施工業者からスプリンクラーの配管内の圧力が上がらずスプリンクラーから散水ができないとの指摘を受けていたにもかかわらず、上司に報告せず 4 月に再開館し、6 月によく報告したこと。

【再質問】

・調査を行わなかったことを了としたのは、担当者のみならず上司も含めてか。

・令和 2 年 12 月の委員会で、復旧の時間がかかっている理由を尋ねたとき、保守点検業者が地下の被害状況確認を行う中でダクト、配管等をチェックする必要があるから時間がかかっているという説明だったが。

【川嶋敬信議員】

●更埴文化会館（あんずホール）について
①スプリンクラーの不具合の報告・発表について、詳しい経過説明を求める。

不具合が確認されてから、しっかりとした「リスク管理」「危機管理」が欠如していたことで、その対応が遅れたまま、再開館してしまった。そして、理事者への報告は、6 月末日となってしまった。

なお、質問にはないが、開館にあたっては、消防署のご指導により、「消火器の増設」「施設内外の巡回強化」「火気使用の厳重制限」「施設職員の防火教育及び消防訓練の実施」など、施設の防火体制の強化を図り、施設運営を継続している。

いずれにしても、私から部下への声掛けや、担当への事業の進捗状況の確認不足から招いた事案と受け止めており、もって、議員各位並びに市民の皆様に多大なご迷惑・ご心配をおかけすることになり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

そのような仕様は、当初設計の段階の方針に基づいており、それで設計したもの。

当初は、壁の中や配管も調査しなければいけないという認識がありながら、浸水を免れていた部分は除くような設計となってしまった。

【教育部長】

まず、昨年 10 月 15 日に、発注者である市と工事監理者や施工業者などで協議がされます機械設備の打合せ会議が開かれ、その席上で施工業者から 1、2 階のスプリンクラーのアラーム弁の現況写真が示され、錆だらけであることが判明しました。

続いて、10月29日に、建築主体、機械設備、電気設備といった現場全体での打合せ会議が開かれ、その席上で工事監理者から市に対しまして、工事対象の範囲外となっている、1、2階スプリンクラーのアラーム弁の改修の検討が必要であるとの報告がありました。

担当課では、この報告を受け、11月2日に施工業者とアラーム弁を含む、スプリンクラー設備の現場立会いを行い、改めて、アラーム弁の劣化状況の報告を受けました。

また、その際、施工業者からは、本来ならば圧縮空気が満ちている配管内の空気圧力が保てておらず、この状態であるとアラーム弁が誤作動する可能性があるとの説明を受け、この時点で、スプリンクラーに不具合があると認識しました。

その後、スプリンクラー設備全体の不具合の改善に向けて、複数の消防設備点検業者に相談しましたが、不調に終わりました。

その後は、しっかりとした「リスク管理」「危機管理」が欠如していたことで、対応が遅れたまま再開館に向けて傾注してしまい、4月3日の再開館に至ってしまいました。

再開館後は、5月30日から6月1日にわたり、消防設備等の点検を実施し、6月21日に、点検結果報告を消防署に提出しました。そして、その点検結果の内容も含め6月22日に報告書が作成され、数日後に私のもとに届き、私から6月末に理事者等へ報告を行いました。

【再質問】

- ・ 工事中の打ち合わせは、市からは文化課、生涯学習課、建設課の担当者が出席していると聞いているが、この工事の監督員は建設部の職員だが、建設部内でスプリンクラーの不具合の報告があったのか。

【建設部長】

建設課として、また、建設部として報告等による情報の共有はされていませんでした。

・消防設備点検記録を見せてもらったが台風災害前は異常が無かった。今年の5月の点検の時にスプリンクラーに異常があるということだが、配管内圧力計というものの数値はいつから異常だったのか。

・点検は定期的に行っているが、分かりやすい圧力計の数値というものが消防設備点検の項目に入っていないのかどうか、消防設備の定期点検方法に何か問題があるのか、或いはその報告書がどうなのか、或いは会館の職員が見れるものであればそういう数値は見た方がいいのではないかと。後で報告いただきたい。

②予算・工期はどうやって決めたのか。

13 か月休館ということが発表されたが、なぜ今の時点で13 か月という発表をしたのか。どういう決め方をしたのか。

【教育部長】

被災当初の段階では1、2階のスプリンクラーについては、問題はないとの認識でいましたので、いつからと明言はできませんが、施工業者からメーターが上がっても下がってしまうという報告を工事の終盤になって受けたものです。

【教育部長】

はじめに、予算についてお答えする。

本定例会の補正予算で設計業務委託料として1,200万円、債務負担行為として、令和4年度から令和6年度まで、限度額5,800万円で、全体で7,000万円をお願いしている。

支出の内容としては、設計委託で4,000万円、アラーム弁の調達費が3,000万円。

設計業務委託料4,000万円の算出に当たっては、消防法上スプリンクラー設備が必要とされる施設の設計や、既存施設の特定天井の耐震化設計の経験がある設計事務所に見積りをお願いし、ヒアリングを行う中で、それらを元に検討し算出したもの。また、スプリンクラー設備については、資材不足等により調達が困難な状況であり、加えて、アラーム弁の調達については、受注生産品で納期がかかるという現状がある。そういった諸般の状況を考慮するなかで、現時点で見込める額を計上したもの。

次に、工期についてお答えする。

10ヶ月という工期については、近隣の文化会館の同じ内容の工事事例を参考とするなど、設計事務所にヒアリングをするなかで設定した。工期については、工事の品質のためにも適正に設定する必要があるので、今後、設計業務の中で施工方法の検討を重ねる中で実際の工期が明らかになる。

次に、休館期間についてお答えする。

休館期間は、工期に連動するので、工事が始まる概ね1か月前から工事終了後2か月の間、休館とする予定。

このことから、新聞報道のとおり1年余、13か月休館としたところです。

「休館をしないで行う方法もあると思うが」とのご意見だが、工事中は作業音が響くことや利用者の安全等を考慮すると、開館しながら工事を行うことは、避けたいことから、関係部局との協議により、今回の予算・工期・スケジュールを決定した。

市民の皆様、利用者の皆様には、ご不便とご迷惑をおかけすることになるが、何卒ご理解をいただきたい。

【再質問】

- 通常の場合、設計をして、どのように工事をするのかを決めて、それから予算を決めて、その内容を市民の皆さんにお知らせするというのが順番だと思う。先に13か月休館しますと発表するとそれがベースになってしまう。それで頑張って10か月の休館になりましたというのはいただけない。安心安全は当たり前ですが、市民や利用者のためと考えた時にいかななものか。

先ほどの配管内圧力計の数値が下がってしまうので、配管に亀裂や腐食が考えられるという説明だが、まず先に配管の調査はしたのか。

今の答弁ではまだ何も決まっていない

【教育部長】

休館をなるべく短くしたいというのは、私どもも同じ気持ち。いずれにしても休館を伴う工事となると、どのくらい休館なのかと問われる。そしてまた施設の予約もどんどん入ってくる。そういったなかで、13か月という、今の見込める期間をお示ししたということで、これから詳細な設計を行っていくので、アラーム弁の調達の間も明らかになってくるので、そういった中でしっかりと説明していく。

に近い。やったことがある設計事務所に聞いて予算を決めた。或いは、他の例で工期を決めたということで、要は決まってないということ。

だから、これからどうやって最短の工期で、休館する日数を限りなく短くし、市民に分かりやすく説明していくかということが必要。ぜひ検討していくとの返事をいただきたい。また、その内容についても、分かり次第早めに報告いただきたい。

- もう一つ、要は圧力計の数値が下がるから異常があるという説明だったが、その配管の検査や調査は先にやるべきで、今の話では配管全部だめという説明で、アラーム弁についても錆があるけれども使えないかどうかは結論が出てない。そういった調査や検査はしないで全てやり替えありで動いているととれたが、いかがなものか。

- もう少し調査した中で設計をして、どういう工法がいいのかということも含めて、加えて、設計業者も1者ではなく、他の者の意見もないと、こういう工事においては過剰な工期或いは内容となる恐れが多いので検討してもらいたい。

③公共施設個別施設計画(令和4年3月)には明記されていないが、今回、なぜ大ホールの天井の耐震化が急に追加されたのか。

また、スプリンクラーの改修が天井耐震化を実施しなければいけない増改築等になるのか。

配管の調査の報告は、12月に業者の方でコンプレッサーから空気を送り圧力計を上げてみたが圧力計が下がったという報告がある。また、8月に総務文教常任委員会の委員には圧力計がゼロの状態になっているものを見ていただいたが、その説明で、新任担当職員が業者に実際に圧力を上げてみてもらったが下がったということを目視確認したという状況は委員には説明した。

12月18日に施工業者が実際に上げてみたが下がったということを施工業者に市から確認してあります。

【教育部長】

1、2階スプリンクラー設備の不具合の早期解消、さらには、効率的かつ安全に工事を進めるため、天井を剥ぐという作業が伴う。同様に大ホールの特定期間天井の後部座席廻りの天井に配備されているスプリンクラー設備の改修の際には天井を剥ぐ作業が伴うの

【再質問】

・特定天井の耐震化について今回、同時に行うというのはスプリンクラーの工事で天井を剥ぐためだという説明だったが、スプリンクラーの配管は、要は水道管の配管。通常、天井を全部剥ぐという工法は取りません。部分的に天井を剥いで配管を通すとかする。全部天井を剥いで、ついでに耐震化の補強の工事もやるというのは根拠に無理があるのではないか。大ホールの天井裏はキャットウォークといってスポットライトの調節とかで結構上がれるようになっている。先ほどの工事の短期間という問題と安心安全という問題も含めて、総合的によく考えていただいて、とりあえずスプリンクラーの対応工事ということで、最短の工事で終了させるという方法はないものか、是非検討していただきたい。

・上山田文化会館の天井も特定天井でしょうか。

で、この際に天井の耐震化も同時に行うこととした。

また、今回予定しているスプリンクラーの改修工事は、建築基準法に基づく増改築や大規模な模様替えには該当しない。したがって、スプリンクラーの改修に併せて、必ずしも特定天井の耐震化を併せて実施しなければいけないといった法的な義務は生じない。しかしながら、スプリンクラーの改修は天井を剥ぐといった作業を伴うことや、足場を組んで作業をすること、天井の耐震化は、いずれは実施しなければならない必要な工事であることから、安全性を確保するため、スプリンクラーの改修に併せて実施することとしたので、ご理解をお願いします。

【教育部長】

今回、このような決定に至る中でスプリンクラーの改修を単独でやる工事のスケジュール感と、そしてまたスプリンクラーに併せて特定天井の工事を行うスケジュール感について庁内で協議しました。そのなかで、工期については、建設課の技師の意見も踏まえながら、設計事務所にも確認するなかで両者とも概ね10か月間という結論が出ましたので、この際一緒に、いずれやらなければならない、この後また休館ということは避けたいということで、併せてやるというかたちで決定したものです。

上山田文化会館の天井も特定天井に該当する。

・上山田文化会館は、あんずホールよりも10年以上古く、既に42年を超えている。特定天井ということで、耐震化は何かの時にやりなさいというのが平成26年の法改正だった。急がなければいけないのは、もしかしたら上山田文化会館の天井ではないか。総合的に、市民の安心安全、利用者、市民の為という目線で検討していただきたい。

【柳澤眞由美議員】

●市民が安心して取り組める文化活動への感染症対策についての3点目、信州の幸あんずホールは、市内外から訪れて利用する方が多い場所であり、時間をかけずに会場に入る為に入口にサーマルカメラ大型モニターを設置するという対応が必要ではないか。

【再質問】

・コンサートなどで、入口に大勢の人がくるときがあり、大型モニターは20人近くモニターできるので、地方創生臨時交付金を使えるうちに検討願いたい。

【教育部長】

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一つである検温については、イベントや会議の際は、主催される皆さまにガイドライン等に沿った適切な対策をお願いし、それぞれ工夫しながら検温、手指消毒などの対策を講じていただいている。

一方で、会館では、平時は、非接触型の体表面温度計（検温器）をインナーコリドーの出入口などに設置して来館者に測定をお願いしている。

議員ご提案の会場の入口に大型モニターを設置する対応については、感染防止対策の有効な手段と思うが、人流などを考慮すると、当面は、現在設置の検温器での検温が住民の間で浸透していることから、改めて大型モニターを設置することは考えていない。

【教育部長】

大型モニターは、感染防止対策の有効な手段であるが、例えば、市民プールでは会場外に行列ができた際には、スタッフが非接触型体温計を使って既に並んでいる方に検温を済ませて入場させるというように、工夫をすれば対応できるのではないかと考える。

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>●千曲市文化財保存活用地域計画について</p> <p>【林慶太郎議員】「保存について」 計画の策定により、文化財の保存をどのように進めていくのか。屋代小学校旧本館や、稲荷山重伝建地区の整備推進は加速していくのか。 また策定する過程で見えてきた課題とその解決、そして推進方法は。</p> <p>【林慶太郎議員】「活用について」 計画の策定により、文化財の活用をどのように進めていくのか。その「具体的な手法と、多くの方に知ってもらうための方策」、「県との連携」そして「文化財の観光活用と日本遺産の更なる推進」の三点について見解を伺う。</p>	<p>【教育部長】 保存に関する二点のご質問のうち一点目、「今回の計画策定で『屋代小学校旧本館』や『稲荷山重要伝統的建造物群保存地区』の整備は加速するのか」では、「稲荷山地区」は重伝建選定以降、文化庁補助金を活用し着実に進め、今年度中に整備計画の策定を行う。 「屋代小学校旧本館」は、本計画の策定で国の支援が見込める状況になった。早期に活用方法を決定し、加速化を図る。 次に、「策定により見えてきた課題」は、計画では当市文化財の課題を、「把握に関する課題」、「保存に関する課題」、「防災・防犯に関する課題」、「活用に関する課題」、「市民等との連携に関する課題」そして「文化財保存・活用拠点づくりに関する課題」の6つに分類した。 そして解消に向け「51の個別事業」を掲げた。事業は「千曲市文化財保存活用地域計画協議会」を設置し、進捗管理を行って進め、課題解消に努める。</p> <p>【教育部長】 三点中、まず、『『活用』の観点から具体的な手法と、多くの方に知ってもらうための方策』では、例えば学校現場では、計画書を社会科の分野や総合的な学習の時間などで活用し、「ふるさと学習」の推進に役立てていただく。市民の皆様は、郷土史を知る参考書としてご活用いただきたい。 市は「歴史講座」等を通じて、歴史風土豊かな郷土の魅力を伝える事業を推進する。 次に、「県との連携」では、現在市は長野</p>

●歴史を活かしたまちづくりについて

【林慶太郎議員】

屋代地区開発と既存施設のさらなる活用、そして地域から要望の存在を聞く屋代城址一帯の里山整備の重要性について

●感染のリスクが少ない屋外の遊び場・公園の整備について

【柳澤眞由美議員】

更級地域では遊び場が少ない。中高生が安心して体を動かせるような遊び場を、さらしなの里歴史資料館の「古代体験パーク」と複合化して整備できないか。

県立歴史館と連携協定を結び、互いに協力し、普段から連携に努めている。引き続き連携を深め情報共有を図っていく。

「文化財の観光活用と日本遺産の更なる推進」では、より多くの観光者の来訪につながるよう情報発信を行い、地元の皆さんも価値を共有できるよう、魅力の発信に努める。また「日本遺産の推進」は、今後のインバウンドや観光者の増加を見据え、パンフレットの作成や多言語化、VRを活用した事業を進める。

【教育部長】

屋代地区大規模開発により、将来周辺の科野の里歴史公園一帯に注目が集まり、集客が十分期待できる。今後の人流増加に備え、施設の活用策を検討する。

次に「屋代城址の活用と周辺の里山公園の整備」では、地元には複数の「まちづくり団体」が存在しイベントに取り組まれていることは、市も十分承知している。

こうした団体との連携・協力は、活用地域計画の重要な柱の一つで、その支援を通じて、文化財の活用と保護に繋げたい。

【教育部長】

「さらしなの里古代体験パーク」は、屋外施設で基本的な感染症対策により、安心して体を動かすことが出来、近くの小学生や家族連れでご利用いただいている。

ご提案の古代体験パークに複合化した公園整備は、過去にも同様の質問があったが、施設機能の拡充は、用地の確保や財政措置など、様々な課題がある。